

ふるさとに春の訪れを告げる
太鼓の響き



住吉神社 北条節句祭りガイド

MATSURI INFORMATION GUIDE



伝統と心意気が支える
華麗なる祭典

祭りの花形・屋台は一級の芸術品

豪華絢爛「化粧屋台の華やかさ」

東郷8台、西郷6台合計14台の化粧屋台は、金銀華麗な鷲・海老・獅子などの彫金技術、純白や黄金色の伊達綱、狭間の彫刻、一つひとつが一級の芸術品で飾られています。その美しい装飾工芸が春の光に輝き、勢ぞろいしたその姿の見ごとさが、この節句祭りの華麗な華やかさを最高に演出し、祭りを盛り上げます。



900年の伝統「鶏合わせ神事」

平安時代より約900年の伝統を受け継ぐ鶏合わせ神事は、節句祭りの最終を飾って奉納されます。東西両郷から古式ゆかしい装束に身を固めた執行者が、勅使塚上で鶏を高く差し上げ二度見合わせます。争いを避け、この一年の協力と平和を誓いあう意味をこめた、全国でも珍しい神事といわれています。



住吉神社
加西市観光案内所
北条節句祭り連絡会

●屋台写真配置は順不同です



本町



南町



西高室



笠屋



西上野



横尾



東高室



市村



黒駒



古坂



小谷



谷



かわいい子供みこしも
4台奉納します。

御旅町



栗田



東・御輿



西・御輿

民俗文化の伝統「龍王舞」

赤い天狗の面に飾りかぶとで登場するのは、天孫降臨の水先案内をつとめた猿田彦。舞は二つの部分で構成され、前半は鉦で外敵を打ち払い、人々の罪や災厄を祓い清め、後半は悪が退散、その幸せと喜びの心を表しています。



「浦安の舞」

愛らしい巫女姿の乙女たちが、舞を神前に奉納し、一年の無事を祈ります。

